

創作のお囁

まるまる

世の中にはいろいろなお菓子が出回っておりまして、その大半はお菓子のまま、ぽんっと置いてあるわけではなく、包み紙に包まれております。欧米風に言いますと、「パッケージ」というやつですな。

パッケージの表面には商品名などが書いてありまして、裏面には何やら細かい文字で材料やら作った会社やらが書いてございます。この小さな文字たち、普段めったなことでは見ない、まあ見ない。一体誰が見ているのか、見ている人なんかいないんじゃないかと思うぐらい、まあ見ない。

どれ誰も見っていないならいっちょ自分が見てみよう。

何々？小麦粉。ふむふむ、砂糖。

まあお菓子と言ったらこんなものはどんなものにも入っているものです。

そして膨張剤に乳化剤。

まあこういった添加物みたいなものは最近のお菓子にはまず入っているようすな。

体にいいものなのか悪いものなのか、ちょっとわからなかったりします。

さらに、バナナ、生クリーム、ゼラチン。

あわわ、こういったものが入っているとは思ってもありませんでした。

なんともいやらしいですな、えっ考え過ぎですか？

こうした材料、食べてしまえばなんてことない。

あま〜い味が口いっぱいに広がりまして、個々の材料の味はわかりません。

お菓子を一口食べて、うん、これは乳化剤の味だなんて、まずわかるわけありません。

さて裏面の表示からパッケージの表面にまた目を返しますと、

裏面とは違って大きな文字でわかりやすく見やすく商品名がバンッと書いてございます。

さまざまなお菓子がそれぞれ主張するかのよう、いろいろな色を使って装飾したりもしてございます。

その装飾はただ色を使うだけでなく、絵を使って視覚的イメージに訴えかけてきたりもしばしば。

商品固有のキャラクターが描かれていることもあります。

有名なところではベビースターラーメンやうまい棒のパッケージにキャラクターが描かれておりますな。

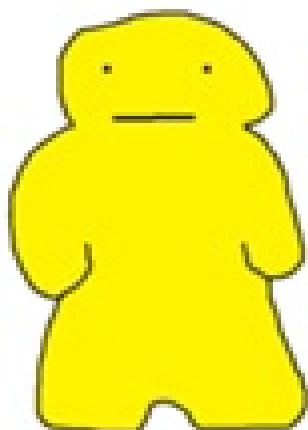
キャラクターには名前がちゃんとついていて、

性格なんか細かく設定されたりもしております。

ベビースターラーメンのキャラクターは「ベビーちゃん」といって、性格は好奇心旺盛な外遊びの達人だそうです。

パッケージの絵のキャラクターにこういった設定なんて必要ないかと思いますが、こうした設定があることでキャラクターがたつんです。乳首が勃つのはわけが違います。キャラが立つことでお菓子だけでなく、キャラクター商品が売れたりして、副産的な収益があったりもするんですね。

他にキャラがたっているキャラクターとしてこんなやつを紹介したいと思います。



はて、こいつの名前はなんでしたかな？ちょっとド忘れしてしまいました。最近年のせいか忘れっぽくなっておりまして、すみません。

とにかくこいつにもちゃんと設定がつけられておりまして、なんと無類の酒好きなんですよ。こうして見ますとのぺーっとしたおとなしそうな性格に見えますが、ちょっと酒が入ると少しだけたちが悪い。

すぐ人に絡むわ、大笑いしたかと思えば今度は大声で泣くわわめくわ。周りの人たちが迷惑するような酒の飲み方をするんですな。

こいつにちょっと聞いてみたんです。

「おまえさん、どうしてこんなに酒が好きなんだい？」

「何もかも忘れられて、とにかく楽しい気分になるんです。そういうところが好きなんです」
こんな顔して悩みなんかもないかと思いきや、忘れたいこととかあって苦労してるんですな。

「酒はどんな種類の酒を飲むんだい？」

「僕は何でも好きで、何でも飲みますね」

「日本酒なんかはどうだ？」

「日本酒はすっきりとした飲み口で、熱燗なんかにしたらとっても素敵ですね」

「焼酎は？」

「焼酎はのどにカーッとくる感じがいいです、そして胃の中にグワーツと染み渡る感じなんかもいいですね」

「ビールなんかもいけるのかい？」

「ビールは仕事終わりで一気にぐいぐいとかっ込むと爽快です。仕事したわーという気持ちになりますね」

「まさかお前みたいなもんがワインなんかは飲まないだろう？」

「そんなわけないじゃないですか、
ワインは口に含ませた時の香りが何とも言えず、
のどに通した後には血のようにワインが全身にしみわたる感覚を味わえますよ」

「へー、やけにしゃれたことを言うじゃねえか。
自分はどうもワインは口に合わん。
なんたって赤だ白だやれ口ゼだ、種類がいろいろあるし、
年代物のワインだったら高価で手も出やしねえし。
酒好きのお前さんはそんなの気にせず何でも飲むんだろうね」

「いえいえ、ワインは、ワインだけはボジョレー産のヌーボーに限る」

「そうだ、今思い出しました、こいつの名前は「ぬ〜ぼ〜」でした。
おあとがよろしいようで。」

何となく考えてみたけども、こんなものだろうか。

※この唄の悪いところ

- ・ぬ〜ぼ〜自体が古いし、あまりメジャーではない点
- ・逆にぬ〜ぼ〜を知っている場合にはサゲが読めてしまうかもしれない点。
- ・ぬ〜ぼ〜のCMイメージキャラクターがマーシーだったため、多少印象が悪い点。
- ・中盤のボケが弱い、というかサゲもダメダメか・・・。